

## 上海の磁力としてエリアの発展を牽引 10月25日「上海環球金融中心」開業10周年

森ビルグループが運営する中国・上海市浦東新区陸家嘴金融貿易中心区の101階建、492m、用途複合の超高層ビル「上海環球金融中心」(英文名称:Shanghai World Financial Center)は、2018年10月25日に開業10周年を迎えます。

進化する中国の中でも発展著しい上海・浦東新区陸家嘴エリアに位置する上海環球金融中心は、グローバル企業のニーズに応える高機能なオフィスを中心に、最頂部474mの展望台、上質なサービスを提供するパークハイアット上海、商業施設などを擁する「ヴァーティカルガーデンシティ(立体緑園都市)」です。

2008年、「グローバルマグネット」をコンセプトに開業して以降、世界中の人々や情報を惹きつけ、流れを生み、強力な磁力として存在してきました。オフィスは、開業から10年を経た現在まで常に高稼働を維持し、展望台は延べ2000万人もの方々を迎え入れるなど来館者数が順調に伸長。従来型の国際金融センターの概念を超えて、ビジネスはもとより、文化・観光拠点としての賑わいを創出しながら、上海のランドマークとして、エリアの発展を牽引し続けています。



### <上海環球金融中心の歩み>

■幾多の困難を乗り越えて誕生した上海環球金融中心(2008年)

■上海のランドマークとしてエリアの発展を牽引

【オフィス】開業時より高稼働を維持、マーケットリーダーとして上海オフィス市場を牽引

【商業施設】人気飲食店を主軸にワーカーや観光客を惹きつけ、2017年に過去最高売上を記録

✓ タウンマネジメントによる街の賑わい創出(都市を創り、都市を育む)

✓ 陸家嘴エリアを繋ぐペデストリアンデッキの開通

(ダイナミックな上海の都市開発に生かされた森ビルのノウハウ)

(参考)世界からの評価 ～ハード・ソフト両面で多岐にわたる表彰や認定を獲得～

■10周年記念イベントの開催

森ビルは、「都市を創り、都市を育む」という思想のもと、東京で培ってきた多彩なノウハウを活かし、地元や行政の皆様と信頼関係を築きながら上海市の新たなランドマークとして誕生した「上海環球金融中心」を育てまいりました。引き続き、当社の強みを生かした都市づくりを推進するとともに、周辺施設との連携をより積極化し、エリアマネジメントへと発展させていくことで、アジアを代表する金融センターとして、発展する上海市のさらなる磁力向上に貢献してまいります。

#### 【本件に関するお問合せ】

(日本) 森ビル株式会社 広報室

TEL:81-3-6406-6606 FAX:81-3-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

(中国) 森大厦(上海)有限公司 媒体宣伝科

TEL:86-21-3867-2288 FAX:86-21-3867-2101 E-mail:mr@mori-building.com

## 幾多の困難を乗り越えて誕生した上海環球金融中心(2008年)

### 森ビル初となる海外での都市開発: 1990年代初頭、中国に事業進出

1990年代初頭、海外への事業進出の可能性を模索し、世界諸都市の視察を行っていた当社は、当時、国際水準のオフィスが十分に供給されていなかった中国大陸(当時の香港除く)に大きな可能性を見出し、事業進出を決定。1996年、中国における第1号プロジェクトとして大連市に森茂大廈を完成させました。

また、中国国務院が描いていた「上海市浦東新区陸家嘴エリアを金融と貿易の中心地にする」という構想に対し、東京で培ってきた当社の都市づくりのノウハウが、金融センター形成に貢献できるという考えから、1994年には、上海森茂国際大廈(現 恒生銀行大廈)と上海環球金融中心、これら2つのプロジェクトの事業計画を決定。地元企業とのJVが主流であった当時の中国において、森ビルを中核とした外資企業独資による都市づくりへの挑戦をスタートしました。

### 工事中断を機に、さらなる進化へ

上海環球金融中心は、森ビルの上海における2番目のプロジェクトとして1997年に着工。しかし、同時期に起きたアジア経済危機の影響で、中国経済に一時的な停滞の兆しがみえたこともあり、1998年に工事を中断。その後も、2001年の9.11同時多発テロ、2003年SARS大流行など、世界を震撼させる出来事が続く中、工事再開の時期を慎重に見極めていました。

一方、工事再開までの期間を利用し、世界の金融機関をはじめとしたグローバル企業が求める最新鋭のオフィス仕様など、グローバルスタンダードでのスペックに対応した設計へと見直しを実施。施設構成についても熟慮を重ね、単なるオフィスビルではなく、ホテル、カンファレンス、商業施設、展望施設など、様々な都市機能を垂直に集約した「ヴァーティカルガーデンシティ(立体緑園都市)」とし、アジアを代表する金融センターとして更なる発展が見込まれる上海のシンボルとなることを目指しました。

その後、2003年に工事を再開。建設にあたっては、中国政府ならびに上海市政府の強力な支持のもと、日本、アメリカ、中国の設計・デザイン力、建築施工技術力、さらに、当社の企画力、監理力、施設運営力など、各国の最先端の技術やノウハウを結集させ、2008年、上海環球金融中心が誕生しました。



浦東(陸家嘴)エリアの変化 (左) 1990年 (右) 2018年

## 上海のランドマークとしてエリアの発展を牽引

上海環球金融中心は、金融センターとしての機能を備えるのみならず、才能ある人々や文化、芸術などの情報が世界中からここに集まり、そして、それらが融合してまた新たな文化を発信していくことを目指し、コンセプトを「グローバルマグネット」と決めました。現在では、従来型の国際金融センターの概念を超えて、ビジネスだけでなく、文化、観光の拠点として多くの人を惹きつけています。

主幹事業であるオフィス事業は、日系企業をはじめ、中国系・欧米系の世界でも有数の有力企業が集結し、開業時より常に高稼働を維持。マーケットリーダーとして、上海のオフィスマーケットを牽引しています。人気の飲食店を主軸とした商業施設も、陸家嘴エリアのオフィスワーカーや観光客を惹きつけており、開業から約 10 年を経た 2017 年には、過去最高売上を記録しています。

## ■タウンマネジメントによる街の賑わい創出(都市を創り、都市を育む)

上海環球金融中心でも森ビルが得意とするタウンマネジメントの手法を導入しており、六本木ヒルズやアークヒルズなどで培ったノウハウを、現地(上海)に則した形に転換しながら街の運営を行ってきました。

オフィスワーカーを対象にしたコミュニティイベント、パブリックアートの設置、街を使ったアートイベント等、多彩な仕掛けを展開し、上海の交流拠点・文化発信拠点として、賑わいや新たな価値を創出しています。サービスクオリティにおいても、全施設・管理スタッフに対してホスピタリティトレーニングを徹底することで、ハイクオリティなサービスを実現。また、テロ対策として導入している「爆弾探知犬」や、上海では珍しいテナント参加型防災訓練の実施など、安全・安心に向けた高度な取り組みは、オフィステナントをはじめ、上海市政府等行政からも高い評価を得ています。

これらは、中国において先進的な取り組みとして注目され、各種イベントや環境演出(イルミネーション、植栽)などの取り組みは、いずれも大きな反響をよび、いまでは、同エリアの様々なところで多面展開されています。

## ＜文化・コミュニティ＞

### ●文化を通じて街のコミュニティを醸成「Lunch Time Concert」

上海市文化ラジオ局と陸家嘴金融城発展局(元:陸家嘴管理委員会)の指導のもと、2014 年からオフィスワーカーや来街者を対象にした文化イベントとして、音楽鑑賞イベント「Lunch Time Concert」を実施しています。上海市軽音楽団と行う本取り組みは、計 48 回の開催を通じて、約 150 人のパフォーマーを誘致し、約 6,000 人の方々にお楽しみいただきました。今後も月 1 回の開催を予定しています。



オフィスワーカーや来街者で賑わう「Lunch Time Concert」

### ●オフィスワーカーの交流を促進

オフィスワーカーの交流を育む仕掛けとして、アフターファイブの知的交流イベント「SWFC Insights」を 2012 年 4 月より開催。ビジネス、デザイン、社会貢献、カルチャーなど、様々なバックグラウンドを持つスピーカーが登壇し、自身がもつ多様なアイデアをプレゼンテーションしています。上海環球金融中心のオフィスワーカーだけでなく、周辺エリアのワーカーにも好評を得ている企画で、これまでに計 48 回、10,000 人超のワーカーが参加しました。

また、昨年 2 月より上海環球金融中心のオフィステナントワーカー向けに専用アプリを開発し、上海環球金融中心にて行われるワーカー限定イベントやワーカー優待など様々な特典を受けられるサービスの提供を開始しています。



オフィスワーカーの知的交流イベント「SWFC Insights」

### ●近隣ファミリーにコミュニティの場を提供「Family Garden」

近隣エリアに居住する親子を対象にしたコミュニティイベント「Family Garden」を 2009 年 5 月より 2 ヶ月に 1 回開催。ワークショップや環境演出を中心に、毎回異なるテーマで多彩なコンテンツを提供しています。口コミなどで長年にわたり好評を得ており、リピーターも多く見受けられます。オフィスエリアとして確立されている陸家嘴エリアにおいて、休日の賑わいを創出したいという思いから開始した本イベントは、これまでに計 62 回開催し、約 12,000 人を動員。今年も年間を通じて計 5 回の開催を予定しています。



親子連れで賑わう「Family Garden」

## ●高層建築ならではの仕掛け

「重陽節(旧暦の9月9日)に、高所から遠くを眺めることで邪気を払い長寿を願う」という中国古来の風習にちなみ開催している「スカイマラソン」は、高さ492mの高層建築を活かしたイベントです。上海環球金融中心の100階に位置する展望台まで一気に駆け上がるもので、これまでに7回実施し、世界20カ国から7,000人以上が参加しています。高層建築を舞台にしたこの新たな取り組みは、周辺施設にも広がり、同様のイベントが開催されるようになりました。

浦東エリアを一望できる展望スペース(94階・101階)では、この他にも、展覧会や美術展など、一年を通じて様々なイベントを実施しており、強い集客力のもと、世界各国から訪れるお客様のデスティネーションとなっています。

## <安全・安心の取り組み>

### ●施設の安全を守る爆弾探知犬

上海環球金融中心では、館内のセキュリティ強化の一環として、警備員による警備に加え、爆弾探知犬による警備も導入しています。これまで、44匹の爆弾探知犬が着任し、館内への不審物の持込み防止に努めてきました。

上海市初の試みとして、定年を迎えた爆弾探知犬に対しては、定期的に退任式を実施し、これまでの活躍をねぎらうとともに、退任後の里親を探す取り組みも行っています。なお、4匹が定年を迎える今年の退任式は、9月19日に実施しました。

### ●VRなどの最新技術を活用した震災訓練

年間約1,000万人が訪れる上海環球金融中心では、安全・安心な街づくりのため、2008年以来、毎年秋に街全体で総合防災訓練を行っています。初年度の参加者は19企業・617人でしたが、2017年度には79企業・約2,000人まで増加。テナントの安全意識と自衛能力の向上と共に、街全体の意識向上、防災力強化に貢献しています。

2017年度は、従来から実施している消火器訓練、心肺蘇生やAED訓練、はしご車による噴水消化実演に加え、VR機器を活用した高層火災非難訓練も実施しました。

これらの継続的かつ先進的な取り組みは、2014年、浦東新区消防安全委員会から浦東新区消防活動に関する先進的な企業として認められ、表彰されました。

また、2016年に上海市消防隊から上海市自衛消防隊に関する先進的な企業としても認定を受けています。

## <地域貢献>

### ●周辺地域への支援を通じたCSR活動

上海環球金融中心ではCSR活動にも積極的に取り組んでいます。四川省汶川の大地震をうけ、2009年、同エリアにある都江堰奎光小学校に図書館(森記念図書館)を寄贈しました。以降も、現地法人の社員による奎光小学校への定期的な訪問や、同校生徒を上海環球金融中心に招待するなど、継続的な相互交流を行うほか、教育備品などの寄付も実施しています。

なお、本年8月には都江堰奎光小学校の生徒が描いた65点の作品を上海環球金融中心のオフィスエントランスに展示しました。



100階の階段を一気に駆け上がる「スカイマラソン」



爆弾探知犬による警備



街の震災訓練



(上) 森記念図書館  
(下) 生徒を上海環球金融中心に招待

## ■陸家嘴エリアを繋ぐペDESTリアンデッキの開通

### ダイナミックな上海の都市開発に活かされた森ビルのノウハウ

2013年9月、上海環球金融中心が位置する陸家嘴エリアに、幅員最大10m、全長1.4kmにおよぶペDESTリアンデッキが開通しました。本デッキは、幅員100mにもおよぶ陸家嘴エリアの主要道路「世紀大道」において、歩行者の安全や利便性を高めるため、2005年、森ビルが上海環球金融中心を含む周辺エリア一体の都市開発計画を上海市に提案したことに端を発します。当社は、その構想から設計・施工監修まで、約8年に渡り積極的に関わり、完成に向けて貢献しました。

道路レベルから高さ8mに位置する本デッキからは眺望が楽しめるほか、照明にも工夫が凝らされ、従来の歩行者動線としての役割を超え、新しい観光名所として夜間や週末を問わず多数の人で賑わうスポットとなるとともに、陸家嘴エリア全体を歩いて楽しめる街へと変貌させました。

本デッキの完成は、ダイナミックかつスピーディーな上海の都市開発の象徴であり、森ビルが提唱する「ヴァーティカルガーデンシティ(立体緑園都市)」の発展事例とも言えます。今後も森ビルは、上海の都市発展に向けた提案を継続して行ってまいります。



ペDESTリアンデッキと上海環球金融中心（中央奥）



多くの人々で賑わうペDESTリアンデッキ



## (参考)世界からの評価 ～ハード・ソフト両面で多岐にわたる表彰や認定を獲得～

上海環球金融中心は、その充実した機能面や建物のデザインなどのハード面、また、継続した地域への貢献や文化活動の取り組みといったソフト面において、世界的に高い評価をいただき、この10年で多岐にわたる表彰や認定を受けています。

開業から10年を経たこの度、アメリカ・シカゴに本部を置く高層ビル・都市居住協議会(Council on Tall Buildings and Urban Habitat、以下CTBUH)より、「10 Year Award(10年間の功績を讃える賞)」を受賞しました。完成後10年間使用されている建物を対象に、その価値と実績を表彰する本賞は、時を経ても存在感を示し続ける上海環球金融中心を、以下のとおり、高く評価しています。

### 受賞理由(CTBUHコメント)

上海環球金融中心は、上海市にとって、世界的な金融都市の出現と、中国の世界への登場を象徴するものです。その設計の大胆さにより、10年後も都市のスカイラインの中で存在感を示しています。また、その性能と実績は時間とともに成長しており、将来の高層ビル設計における好例として輝き続けていることを高く評価します。



### これまで獲得した主な表彰・認定(一部抜粋)

#### ■高層ビルにおける「最高フロア高さ」及び「軒高」の2部門で世界第1位として認定

「Best Tall Building Worldwide」及び「Best Tall Building Asia & Australasia」認定(2008年、CTBUH)

#### ■100階に位置する展望台がギネス・ワールドレコード社より「世界最高層展望台」として認定

「World's Highest Observation Deck」認定(2009年、Guinness World Records)

#### ■浦東陸家嘴金融エリアにおける先進的な文化施設として受賞

「陸家嘴金融城 文化施設公共文化建設先進賞」、  
「陸家嘴金融城 文化建設先進ビル」受賞  
(2015年、陸家嘴管理委員会)

「陸家嘴金融城 文化空間卓越賞」受賞(2016年、陸家嘴金融貿易区ビル協会)

#### ■上海市新聞弁公室より社会貢献に積極的に取り組む企業として受賞

「“上海企業創新与可継続發展”展覧会 CSR賞」受賞(2016年、解放日報、Shanghai Daily)

「迈向2040:企業創新と都市可持續發展優秀案例大賞」にて、「2017可持續行動典範賞」受賞  
(2017年、解放日報、Shanghai Daily)

#### ■高層ビルにおけるビル管理運営10年間の功績を讃える賞を受賞

2018 Tall+URBAN INNOVATION CONFERENCE

Featuring the CTBUH 2018 AWARDS 10 Year Award (2008 Completions)受賞(2018年、CTBUH)

#### ■米国グリーンビルディング協会(USGBC)による国際的な環境性能認証制度「LEED(リード)」の「O+M(既存ビルの運用とメンテナンス)」カテゴリーにおいて最高ランクのプラチナ認証を取得 ※認証対象:オフィスフロア(7階~77階)

#### ■上海市の発展に様々な分野で貢献した外国人として受賞

森浩生董事長 「白玉蘭紀念獎」を受賞(2014年、上海市人民政府)

森浩生董事長 「白玉蘭榮譽獎」を受賞(2018年、上海市人民政府)

## 10周年記念イベントの開催

上海環球金融中心では、10周年を記念した多彩なイベントを開催中です。

### 上海環球金融中心 10周年写真コンテスト&コンテスト受賞作品展

上海環球金融中心竣工からの10年間の上海市・浦東新区エリアの写真を一般から応募し、受賞作品を展示。

期間:2018年10月24日(水)~11月11日(日)  
場所:上海環球金融中心 2F 円形広場  
主催:上海環球金融中心有限公司



### 上海・浦東・陸家嘴発展の軌跡展

上海市・浦東新区エリアの発展の歴史、上海環球金融センターの誕生、そして現在までの軌跡を迎える企画展示。

期間:2018年10月24日(水)~11月24日(土)  
場所:上海環球金融中心 1F オフィスロビー、3F ギャラリー、3F 共用部通路  
主催:上海環球金融中心有限公司



### 「ART AQUARIUM in 上海 & NIGHT AQUARIUM」

中国初のアートアクアリウム展覧会。世界最大の観賞魚市場中国に新しいアクアリウム空間を展開。

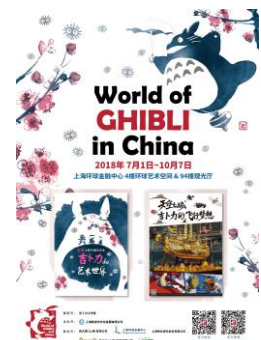
期間:2018年10月26日(金)~2019年2月17日(日)  
場所:上海環球金融中心 94F 展望台  
主催:上海環球金融中心有限公司、上海森茂国際不動産有限公司、森大厦(上海)有限公司、上海秀仕観光会務有限公司



### 中国大陸初開催 「World of Ghibli in China」

となりのトロ制作 30周年を記念した映画の正式公開に合わせ、上海環球金融センターの展望台フロアなどで、中国大陸初となるスタジオジブリの展覧会を開催しました。会期中は、多数のお客様が国内外から来館し、10月7日(日)に閉幕しました。

期間:2018年7月1日(日)~10月7日(日)  
場所:上海環球金融中心 4F、94F 展望台  
主催:上海新創華文化發展有限公司  
協力:森大厦(上海)有限公司、上海環球金融中心有限公司、上海秀仕観光会務有限公司、伴乐谷(上海)商貿有限公司



【プロジェクト概要】

所在地	中国上海市浦东新区世纪大道 100 号
敷地面積	30,000m <sup>2</sup>
延床面積	381,600m <sup>2</sup>
用途	事務所、ホテル、店舗、展望施設 他
階数	地上 101 階 / 地下 3 階
竣工	2008 年 8 月
構造	SRC 造、S 造
設計	設計・監修/森ビル(株)一級建築士事務所 建築設計/コーン・ペダーセン・フォックス・アソシエイツ P.C.、(株)入江三宅設計事務所 構造設計/レスリー・イー・ロバートソン・アソシエイツ R.L.L.P 顧問設計/上海現代建築設計(集団)有限公司、華東建築設計研究院有限公司
アクセス	上海浦東国際空港より:約 40km <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車利用にて約 50 分、リニアモーターカー・地下鉄利用にて約 50 分</li> </ul> 虹橋国際空港より:約 25km <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車利用にて約 40 分、地下鉄利用にて約 50 分</li> </ul>

